

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
アジア動物専門学校	平成19年3月15日	佐山百合子	〒 315-0015 (住所) 茨城県石岡市貝地2-3508 (電話) 0299-35-5380			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人佐山学園	平成19年3月15日	佐山等	〒 315-0015 (住所) 茨城県石岡市貝地2-3508 (電話) 0299-35-5380			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
文化教養	文化教養専門課程	動物総合学科 (ドッグトレーナーコース)	平成21年文部科学省 告示第21号	-	平成26年度	
学科の目的	建学の精神に基づき、世界に通用する技術力、高い知識に裏付けられた応用力、動物愛護の精神に溢れた豊かな心、動物と共生する喜びと感謝の気持ちを育成し、真の動物との共生の実現に寄与できる心豊かなスペシャリストを育成することを目的とする。					
学科の特徴(取得可能な資格)	(一社)日本動物専門学校協会認定トリマー1級資格の取得を目指す。					
修業年限	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	※単位時間、単位いずれかに記入 2,250 単位時間 単位	524 単位時間 単位	0 単位時間 単位	1,726 単位時間 単位	0 単位時間 単位	0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率		
80人	25人	0人	0%	0%		
就職等の状況	■卒業者数		12	人		
	■就職希望者数		10	人		
	■就職者数(E)		10	人		
	■地元就職者数(F)		8	人		
	■就職率(E/D)		100	%		
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		80	%		
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		80	%		
	■進学者数		0	人		
	■その他		2	人		
	療養 和 5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 ペットショップ、しつけ方教室 など					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無			
当該学科のホームページ	<a href="http://aaa.ac.jp/">http://aaa.ac.jp/</a>					
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)					
	総授業時数	2,250 単位時間				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1,419 単位時間				
	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間				
	うち必修授業時数	1,419 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	1,419 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間				
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間				
	(B: 単位数による算定)					
	総単位数	単位				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位					
うち企業等と連携した演習の単位数	単位					
うち必修単位数	単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位					
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		4人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		1人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		1人			
	計		6人			
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		6人				

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
ペット業界が求める即戦力となる人材を育成するために、教育課程の編成において、業界関連企業や関連団体等と連携し、業界の意見や要望、アドバイス等を反映した実践的なカリキュラム編成を行うことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記  
ペット関連企業・業界団体役員、学校長、教職員により教育課程編成委員会を構成し、学校組織から独立した委員会として位置付け、広い見識から教育課程について議論できる組織とする。委員会から受けた助言・提言を学内の職員会議で協議した上で、本学の教育課程の編成に反映させるものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年10月20日現在

名前	所属	任期	種別
佐山 百合子	アジア動物専門学校・アジア動物看護理学療法専門学校 校・アジア動物ペットスタイリスト専門学校 学校長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
小島 章義	(一社)全国ペット協会 会長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
皆川 浩之	(有)皆川獣医科医院 専務取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
小久保 貴史	学校法人佐山学園 教務長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
小坂 邦彦	学校法人佐山学園 事務長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月～10月、2月～3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年10月12日 14:00～15:00

第2回 令和6年2月22日 14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

学外講師を招聘し、就職活動への動機づけに繋がたいという委員の意見を踏まえ、過去の実績をもとに機会を増やすことを検討する。また、年間行事のうち、就職イベントを増やすことへの意見を踏まえ、学事日程を調整することを課題とした。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習を定期的に取り入れることで、業界の変化やニーズを間近で体感する。その結果、専門分野に生きる社会人としての自覚を持たせ、ひいては業界で活躍しゆく人材を育成することを基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携企業の動物病院において実践的な実習を行うとともに、連携企業の実務経験豊富な講師による動物看護の技術指導を展開している。半期毎に定める評価方法で、企業担当者の評価も勘案し、科目担当教員が総合的に評価している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
動物総合基礎実習	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	今後の進路選択の指標と意識向上を目的に、4コースの専門基礎を学び、動物に関する幅広い知識と技術を身に付ける。	株式会社デン&ケリー
トリミング実習Ⅰ	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	ヘアスタイリストとして身に付けた基礎をもち、スピーディかつ丁寧なグルーミングを心掛け、NAVAトリマー3級ライセンスの取得を目指す。	株式会社デン&ケリー
トリミング実習Ⅱ	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	しつけ教室、訓練所でのトリミング業務を担えるよう実技の習得とNAVAトリマーライセンス2級の取得を目指す。	株式会社デン&ケリー
ドッグトレーニング実習Ⅰ	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	犬の行動の意味を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの基礎を理解し動物の扱い方に活かす。	株式会社コジマ
ドッグトレーニング実習Ⅱ	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	犬の起源・特徴を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの基礎を理解し実技での動物の扱い方に活かす。	株式会社コジマ
ドッグトレーニング実習Ⅲ	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	犬の起源・特徴を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの理解を深め、実技で動物の扱い方を学ぶ。	株式会社コジマ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

アジア動物専門学校就業規則第45条(職員教育、研修)及び教育研修規定に基づき年間研修計画を策定している。計画的に各種競技会や研修会等に参加することにより教職員の技術向上、授業改善や学生指導力の向上を図ることを基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名 期間 内容	パピートレーニング研修 令和5年9月・10月 子犬の扱い方について	連携企業等：株式会社コジマ 対象：学科教員
-----------------	---	--------------------------

研修名 期間 内容	パピートレーニング研修 令和5年11月・12月 顧客への説明方法について	連携企業等：株式会社コジマ 対象：学科教員
-----------------	--	--------------------------

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名 期間 内容	授業研究 令和5年8月 模擬授業を実施し、アンケート結果をフィードバックすることで、授業の質の向上を図る	連携企業等：株式会社デン&ケリー 対象：学科教員
-----------------	--	-----------------------------

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名 期間 内容	パピーパーティー研修 令和6年9月・10月 刺激に慣らすための講習	連携企業等：株式会社コジマ 対象：学科教員
-----------------	---	--------------------------

研修名 期間 内容	パピーパーティー研修 令和6年11月・12月 犬具の提案についての講習	連携企業等：株式会社コジマ 対象：学科教員
-----------------	---	--------------------------

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名 期間 内容	授業研究 令和6年8月 模擬授業を実施し、アンケート結果をフィードバックすることで、授業の質の向上を図る	連携企業等：株式会社デン&ケリー 対象：学科教員
-----------------	--	-----------------------------

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

評価結果に基づき、評価項目の達成及び取り組み状況を点検する。また、動物に関する高度教育機関である専門学校としての特色を踏まえ、自己点検・自己評価において認識された課題や今後の取り組みについて改善・確認する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受入れ事業
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

各委員より自己点検・自己評価に関していただいた主な意見(企業と連携した教育で、企業に求められる人材を育成。既卒者向けの講座の拡充。先を見据えた環境の整備。入学前に職業の理解ができる取り組み。)をもとに、今後のカリキュラムの見直しや、より質の高い授業を展開することに繋げていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
小島 章義	(一社)全国ペット協会 会長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
皆川 浩之	(有)皆川獣医科医院 専務取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
鈴木 愛美	保護者代表	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	保護者
青木 紗耶	卒業生代表	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <http://aaa.ac.jp/>

公表時期: 令和6年5月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
ホームページを通じて、教育活動、学校運営に関する情報を公開することにより、企業等への理解と協力を求め、企業・社会と連携してより質の高い教育活動がなされるための検証の契機とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	動物看護理学療法学科の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <http://aaa.ac.jp/>

公表時期: 令和6年5月31日

## 授業科目等の概要

文化教養専門課程 動物総合学科(ドッグトレーナーコース)令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ペットスタイリスト入門Ⅰ	シャンプーや皮膚・被毛のメカニズムなどグルーミングに関する基礎知識を身につける	1・前期	26	2	○			○	○			
	○		ペットスタイリスト入門Ⅱ	繁殖に係わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生児管理、遺伝学の基礎知識を習得する。また飼育に係わる管理法を学び、動物の生態や健康管理の基礎知識を習得する。	1・後期	14	1	○			○	○			
	○		動物飼育入門	動物関係の職業を希望する者のベーシックな知識として、エキゾチックアニマルの分類学、形態学、生理学、生態学及び飼養管理学の基礎知識を習得し、飼育員として法令・条例関係の背景や法令順守の精神を醸成する。	1・前期	30	2	○			○		○		
	○		動物看護入門Ⅰ	動物総合学科として、動物看護分野での基礎知識を身につけ専門科講義へのステップとする。また専門で学ばずとも動物と関わっていく中で必要になる知識を習得する。	1・前期	66	4	○			○	○			
	○		動物看護入門Ⅱ	動物看護入門Ⅰで修得した、動物の基礎知識をさらに深めるべく動物の疾病・犬学・猫学・動物の幸せ・人間と動物の関係について知識を深め、今後の専門科目の学習、仕事へ活かせるように知識を修得する。	1・前後期	72	5	○			○	○			
	○		動物看護入門Ⅲ	近年飼育数の増えている猫について幅広い知識を修得し、動物病院以外でも活用できる知識を学ぶ。	2・前期	13	1	○			○		○		
	○		ドッグトレーニング入門	犬の起源・特徴を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの基礎を理解し実技での動物の扱い方に活かす。	1・前期	33	2	○			○		○		
○			動物総合基礎実習	今後の進路選択の指標と意識向上を目的に、4コースの専門基礎を学び、動物に関する幅広い知識と技術を身に付ける。	1・前期	105	4			○	○		○	○	
	○		ライセンス対策講座Ⅰ	人と動物の共生する社会が注目を浴び、動物の飼養管理法、接し方が変わりつつある中で、ペット産業に従事する者としての必要な基礎知識を身につけ、実務に対応できることを目指し、家庭動物管理士3級、ペットケアアドバイザー、ドッグインストラクター、トリマー3級の資格取得を目指す。	1・後期	30	2	○			○		○		
	○		ライセンス対策講座Ⅱ	2年後期に実施予定の動物介在福祉士、キャットグルーマーB級の資格取得を目指し、各試験範囲のポイントを押さえる。	2・後期	15	1	○			○		○		

## 授業科目等の概要

文化教養専門課程 動物総合学科(ドッグトレーナーコース)令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		就職対策講座Ⅰ	ペット業界・動物業界への就職を目指し必要なビジネスマナー全般を習得する。	1・前後期	45	3	○			○			○	
	○		就職対策講座Ⅱ	ペット業界・動物業界への就職を目指し、希望企業からの内定を得るため、そして社会人に必要なビジネスマナー等を理解し習得する。	2・前後期	30	2	○			○				○
	○		動物介在療法学	動物介在療法(AAT)とは何かを理解し、どのような活動がなされているかを知り、動物がもたらす影響を知る。	1年後期・2年前期	20	1	○			○				○
○			総合学習Ⅰ	学校行事や施設見学、就職説明会、特別講師による授業等を通して視野を広げ、協調性やチームワークを身につける。	1・前後期	82	3	△			○	○	○	○	○
○			総合学習Ⅱ	学校行事を通して、集団での行動を意識し社会(集団)でのあり方を学ぶ。	2・前後期	43	2				○	○	○	○	○
	○		動物行動学Ⅰ	犬の起源・特徴を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの基礎を理解し実技での動物の扱い方に活かす。	1・前後期	70	5	○			○				○
	○		動物行動学Ⅱ	動物行動学Ⅰから更に犬の起源・特徴を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの理解を深め、実技での動物の扱い方に活かす。	2・前後期	60	4	○			○				○
○			トリミング実習Ⅰ	NAVATリマー3級ライセンスの取得を目指す。	1・前後期	147	5				○	○			○
○			トリミング実習Ⅱ	しつけ教室、訓練所でのトリミング業務を担えるよう実技の習得とNAVATリマーライセンス2級の取得を目指す。	2・前後期	187	6				○	○			○
○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	犬の行動の意味を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの基礎を理解し動物の扱い方に活かす。	1・前後期	350	12				○	○	○		○



○			ドッグトレーニ ング実習Ⅱ	犬の起源・特徴を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの基礎を理解し実技での動物の扱い方に活かす。	2・前期	315	11					○	○	○		○	○
---	--	--	------------------	--	------	-----	----	--	--	--	--	---	---	---	--	---	---

文化教養専門課程 動物総合学科(ドッグトレーナーコース)令和5年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ドッグトレーニ ング実習Ⅲ	犬の起源・特徴を知り、基本的行動様式、適正なハンドリングの理解を深め、実技で動物の扱い方を学ぶ。	2・後期	315	11			○	○	○		○	○
○			就職対策実践講座Ⅰ	オープンキャンパスを通して、就職対策講座で学んだ接遇対応を実践し、社会で通用する技術を学び、サービス精神を理解する。	1・後期	56	2			○	○			○	○
○			就職対策実践講座Ⅱ	就職対策実践講座Ⅰから、更に仲間同士でのコミュニケーション、教員(上司に相当)とのコミュニケーションを通して、社会での自分自身の立場を理解しながら目的を果たせるか実践を通して習得するとともに、1年への指導を行う。	2・前後期	126	4			○	○			○	○
合計				24科目		2,250単位時間(95単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
再評価後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要がある。	学年の学期区分	2期
①取得単位数が、進級時は所定の単位数の80%以上、卒業時は90%以上を取得していること	学期の授業期間	16週
②実習科目の単位を全て取得していること		
③所定の学費を完納していること		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。





